

2021年度 第2回CSR委員会 議事録

日 時 2021年6月25日(金) 13:30~17:00
 会 場 Web会議
 出席者 20名(欠席:横山副会長)

(敬称略)

ブロック	委員名	ブロック	委員名	ブロック	委員名
東京	廣瀬 城児	南関東	丹沢 悟	東中国	○ 山田 眞理
北海道	池田 壮	東京	○ 三浦 起世光	西中国	青木 道男
北東北	小笠原 裕司	東海	伊藤 準	四国	平岡 佳展
南東北	沓澤 六雄	北陸	宮下 正	九州北	三浦 文義
上信越	桐島 航平	近畿	松田 時典	九州南	植村 敬子
東関東	岩崎 栄	阪神	西川 秀俊		

<担当副会長>横山 健一郎

<事務局>専務理事:野元 敏昭、特命部長:金澤 亨、特命部長:大谷 隆(記)

:委員長、○:副委員長

<委員会での決定事項>

- ・BCPセミナーの開催が決まったら direct にて共有する(他地域へも積極参加)。
- ・7/27(火)15:00~30分ハザードマップ活用勉強会を全国のCSR委員対象に実施する。
- ・新たな取組みを direct で共有。
- ・継続活動について、次回委員会までに、しっかりヒアリングして活動チェックシートを提出。

議 事

・挨拶

1. 横山副会長メッセージ

事前に頂いた挨拶文を事務局にて代読した(以下 挨拶文)。

- ・本日、CSR委員会にご出席いただきました委員の皆様には、常日頃から日本代協の諸活動にご協力をいただき、心より感謝申し上げます。本日の会議には、先約があり甚だ勝手ながら欠席させていただくことになりました。まことに申し訳ございません。
- ・さて、当協会は今月10日に第2回理事会が、また翌11日は通常総会ならびに全国会長懇談会が開催されました。理事会におきましては、各委員会、各地区の活動状況の報告がありました。当委員会の活動についても廣瀬委員長から各理事にご報告をいただき、今年度の事業計画に沿った活動について報告いただいております。各会議の内容については、会議の中でご報告があるかと思っておりますので、理事会議事録と併せて把握し、理解を深めて各代協の関係者としっかり共有していただきますようお願いを致します。
- ・CSR委員会は、取組む活動が多岐にわたり、各委員の皆さまのご苦勞も多いことは承知しております。保険には公共性があり、地域の企業や人々の不安に応え、生活を支える機能があることは、各委員の皆さんも十分に承知されていることと思います。保険代理業にしっかり取り組む事は、すなわち社会課題の解決に貢献するものであり、この活動を充実させていくことが、地域の社会貢献活動に大いに寄与していくもの、これが日本代協の方針です。
- ・保険代理店としての本業を発展させていくためにも、その専門性を自ら高め、顧客対応力を磨きつつ、保険が持つ力をしっかりお伝えしていくことが、この委員会に期待されており、委員会の皆さんが各地域との太いパイプとなって好事例や意見、発案を共有して実りある成果を上げていくことが肝心であると考えます。

- ・そうした中で、先にまとめていただきました「2021 年度【計画】CSR活動チェックシート」に目を通しました。「ぼうさい探検隊」については、例年よりも早く展開していただいているようで、このコロナ禍という困難な状況下で実施に向けてご尽力いただいた代協関係者に感謝申し上げます。
- ・その一方で、各代協の取組み状況にかなりバラツキがあるように見受けられました。今週初めに提示されたものですので、会議までには最新情報に更新されたものがあるかと思いますが、全国ベースの独自継続活動についても「実施しない」「未定」の報告が目につきました。
- ・例えば、野元専務理事による「ハザードマップ勉強会」の全国展開につきましても「未定」は検討の途上なのかどうか不明であり、「無」を判断された背景や理由についても把握されているのでしょうか。
- ・CSR活動は通年の活動です。今年度の活動についても、今年 3 月には事業計画が固まっており、年間を通じた活動は概ね固められていることはご承知の通りです。今年度も既に 4 分の 1 が経過しています。本日の会議において、進捗状況を共有いただき、来る 7 月 8 日の第 3 回理事会までには、廣瀬委員長から取組み状況が概ね計画通りに推移しているという内容のご報告をしていただければと期待しております。
- ・コロナ禍で社会貢献活動の制約、制限があるうえ、リアルな会議を開催することもままならない中、委員の皆さんが腐心されていることと思います。Web 会議も日常化してきました。メールや SNS の活用頻度も右肩上がりだと思います。場所を選ばず会議ができることを逆手にとって、ソーシャル・ディスタンスの距離は保ちながら、情報の量と質はより密になってこの委員会を運営していただきたいと思っております。
- ・拙文にて恐縮ではございますが、ご尽力を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

2. 廣瀬委員長挨拶

- ・本日もお忙しい中、委員会に出席いただき感謝します。先月の第 1 回 PT 会議は 2 チームに分けて具体的な取組みを検討したが、本日の委員会ではメンバー全員で諮問事項に対して議論していきたい。
- ・「ぼうさい探検隊」については、5/27 時点で 13 団体が申し込みをしている。団体には継続的な取組みの案内を行い、団体で活動できる環境になった時点ですぐに取り組んでいただけるよう繋がりをもっておき、小人数・家族での取組みについては意義をしっかりと伝えて早期にエントリーしてもらおうと共に、損保協会に依頼した、タブレット操作方法の動画も活用していただきたい。
- ・6 月 23 日に行われた岡山代協でのハザードマップ・ぼうさい探検隊 WEB セミナーに参加させていただいたが、キッズリスクアドバイザー 賞を受賞された成広さんの話や、タブレットの操作方法につき実機を使って説明しており非常にわかりやすかった。地域に根差した活動として、とても大切な活動であると改めて感じた。
- ・「継続活動」は子ども 110 番の保険代理店登録マニュアルを資料に入れているので再度確認いただきたい。
- ・「BCP」については、セミナー開催の状況を添付の日本地図で色分けしたので、未開催の都道府県は早期に予定していただきたい。
- ・「ハザードマップ活用基本ガイド」を使っての勉強会を 7 月 27 日(火) 15:00 ~ 30 分程度、全国の CSR 委員長・支部の CSR 委員を対象に開催する。当初 PT を予定していたが若干終了時間がずれ込むので承知願いたい。
- ・本日も活発な論議をお願いした。

2. 司会進行・議事録作成者の指名

- ・司会進行に山田副委員長、議事録作成者に事務局が指名された。

・報告事項・情報共有

1. 第 2 回 理事会報告

事務局より、配布した第 2 回理事会議事録の内容に沿って説明が行われ、以下の補足をした。

- ・審議事項は1点。SD Financial Technology 株式会社の日本代協賛助会員入会につき全会一致で承認された。
- ・事業計画進捗状況について、地域担当理事・各委員会委員長より報告があった。

3. 通常総会報告

事務局より、配布した臨時総会議事録の内容に沿って説明が行われ、以下の補足をした。

- ・日本代協 2020 年度(第 57 期)事業報告案が承認された。
- ・日本代協 2020 年度(第 57 期)貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録が承認された。
- ・杉本監事退任に伴う白石幹事の選任が承認された。

通常総会終了後、全国会長懇談会が開催され会員規模による6つのグループに分かれ事業計画推進について討議を行った。

4. 前回委員会振り返り

廣瀬委員長より、配布した第1回 CSR 委員会議事録および PT 会議メモの内容に沿って振り返りが行われた。

・審議事項

1. 各ブロック独自活動状況

事前に提出された活動チェックシートに基づき各ブロックより独自活動の報告があった。

(北海道)

- ・釧路支部にて3施設へタオル寄贈。
- ・函館支部は5月に無保険車追放キャンペーン(昨年度分)を実施予定だったが秋に延期(緊急事態宣言による)。
- ・各会議体でぼうさい探検隊の推進を口酸っぱく言っている。

(北東北)

- ・岩手で4月にクリーンアップキャンペーン(清掃)実施した。
- ・BCPセミナーを7月に岩手と青森で共同開催予定(秋田は単独開催を検討中)。

(南東北)

- ・宮城で5月に清掃活動、山形では青パト中心に子ども110番(山形110番ネットワークと情報共有)推進。
- ・BCPセミナー、ハザードマップ活用セミナーをブロック単位で、サイバーセキュリティセミナーは各県代協での開催を検討中(いずれもオンライン)。
- ・地震保険普及キャンペーン、無保険車追放キャンペーンは全体としてではなく、支部単位での開催を検討中。
- ・BCPの推進と事業継続力強化計画の推進について企画環境委員会とのすみわけをしっかりとっていただきたい。

(上信越)

- ・各県とも4,5月は具体的活動が出来ていないが6月以降の計画は立てている。
- ・BCPセミナーは3県とも開催予定(群馬は周年記念事業と連動)。
- ・長野県警にサイバーセキュリティセミナーの打診を行った、部内検討との回答。
- ・ぼうさい探検隊推進は各県目標を設定し早期に取組みを徹底している。

(東関東)

- ・茨城、埼玉、千葉は年間活動計画に基づいて活動予定(栃木も状況に応じて実施)。
- ・独自活動についても、昨年実施できなかった活動を中心に行っていく。
- ・千葉代協作成のぼうさい探検隊案内チラシを共有。

(南関東)

- ・「フードバンク山梨」(7月、12月)に連動した取り組みを実施。
- ・「セーフティドライブ・チャレンジ123」に協賛(賛助会員)し参加している。
- ・9月、1月に献血ルームと連携し実施予定。
- ・BCPセミナー、ハザードマップ推進をブロックとして検討中。
- ・地震保険普及ティッシュを住宅展示場に、無保険車追放ティッシュを陸自と運転免許センターに設置依頼(高校、大学での情宣活動も提案中)。

(東京)

- ・コロナの影響が多いがその中でも、活動人数を削減したりオンラインを活用した活動を継続実施する。
- ・新たな取り組みとして「ヘルプマーク」の普及活動を検討している。

(東海)

- ・ぼうさい探検隊の早期推進を各県徹底している。
- ・各県年間活動計画に基いて推進していく。
- ・全国ベース取組みについてはブロック委員会で活動内容を確認する。

(北陸)

- ・独自活動は昨年度ほとんど活動できなかったが、今年度も計画しており実施予定。
- ・BCPセミナーを7月にブロック開催予定。
- ・昨年度、出前講座のDVDを作成したので今年度は各県で実施したい(その時に無保険車追放も併せて推進する)。

(近畿)

- ・各県独自活動を計画している(秋以降)。
- ・滋賀県では地震保険普及、無保険車追放について地元FM局で情宣。
- ・無保険車追放キャンペーンは昨年に引き続き大学と連携して推進していく。

(阪神)

- ・独自活動は感染対策を講じながら行っていく。
- ・BCP策定会員の把握は、全会員が既に策定されているという認識ではあったが、実態はそうでもなかった。把握についてロードがかかってしまえば本末転倒となってしまうので、3月末時点でのアンケートをもって集約することとした。
- ・ハザードマップ活用方法について3県の委員長と打合せしていく。
- ・新規入会会員への子ども110番提案を行う。

(東中国)

- ・BCPセミナーをブロック単位で8月に開催。
- ・ハザードマップ活用勉強会をぼうさい探検隊取組み事例紹介と併せて6月23日に実施(岡山)

・子ども 110 番の推進をブロック会議、支部会議、各委員会等で声掛けしていく。

(西中国)

・代協独自活動は例年通りの計画を規模縮小して実施予定。

・サイバーセキュリティセミナーは県警と日程調整中。

(四国)

・独自の交通安全旗を作成し、ぼうさい探検隊の推進と併せて配布することを検討中(香川)。

・四国合同で9月にBCPセミナー実施予定。

(九州北)

・今年度活動できている独自活動は大分県の献血活動だけだが、各県計画を立てており状況に応じて実施していく。

・ぼうさい探検隊の推進において、大分から毎回参加いただいている団体に取材を行い、取組みがNHKで放映された(九州限定)。

・岡山のハザードマップ活用勉強会に参加させていただいたので、参考にして開催を検討していきたい。

(九州南)

・独自活動は具体的に動けていない(計画は策定済)。

・6月にブロック単位でBCPセミナーを開催。

・ハザードマップ活用についてはブロック単位での勉強会を検討中。

2. ぼうさい探検隊の取組み

現状の取組み状況につき意見を求めた

(主な意見)

・教育委員会、社会福祉協議会等へマップコンクールのチラシが出来た時点で案内している。紫波町の安全推進協議会ではマップ作成を推進しているので連携して既に1校の申し込みがあった。また、保険会社社員にデモ用で借りたタブレットを回覧してもらい、夏休みの課題に使えるのではと案内し、この取組をブロック協議会でも連携した(岩手)。

・独自のチラシ(家族での参加)を作成し、代協新聞(定期的に発行)に同封し全会員に配布する(東京)。

・2年連続で入賞された団体(会員)からマップ作成についての事前準備や作成後のフォローについてわかりやすく説明してもらったことで、参画への意識が高まったと思う(岡山)。

・過去申込みの団体へは案内チラシを作成(資料共有)し積極的に声掛けを行っている(千葉)。

・ブロックとして、やらないという選択肢はないとの考えで件数目標達成は心配していないので、後は日程調整のみ。取組みにあたっては、事前準備を周到に行っても子供の視点と全然違うことが分かるし、先日の岡山の勉強会も非常に参考になった(阪神ブロック)。

・市役所の防災担当部署では小学校に防災講習を行っているので、担当者にマップコンクールのチラシを案内し講習の一つに取り入れてもらうよう依頼している(京都)。

・今の段階であれば、タブレットにも空きがあると思うので皆さんの家族や知り合いにも進めて欲しい(廣瀬委員長)。

・昨年参加した団体に損保協会から案内がされているみたいだが、事前にいつ案内するのか共有して欲しい。事務局より損保協会へ要望する。

・昨年水災被害のあった地域に取組みを依頼しているので水害目線でのマップ作成が出来ると思う(熊本)。

3. 防災・減災の具体的な取組み(ハザードマップ活用討議)

取組み状況の意見を求めた。

(主な意見)

- ・保険会社自前のハザードマップが使いやすいとの意見があるので、いろんな視点で提案することができる。ただ、お客さま目線で提案する必要があると思うので、支部でセミナーを開催し自らが活用する機会を検討している(大分)。
- ・支部でハザードマップ制作費に充てていただきたいとチャリティ基金を行ったり(併せてぼうさい探検隊も進めた)、声掛けをしてはいるが保険会社からの指導があまりないのが実態で意識が低いと思う(北海道)。
- ・「ハザードマップ活用基本ガイド」にマイ・タイムラインについて記載されているが、ハザードマップの提供だけでなく、このような心構えを伝えることも重要だと思う。ハザードマップの基準も 1,000 年に一度の災害に見直されてきておりその辺も理解することが重要だと感じた(山田副委員長)。
- ・2 年前に千曲川の氾濫により甚大な被害があったが、災害が少ない地域と言われていることもあり全体の意識が低いと思う(長野)。
- ・ぼうさい探検隊のマップ作成に同行したときに子供や保護者の防災意識が地域によってだいぶ違うことが分かった(高知)。

廣瀬委員長より

- ・ハザードマップ活用の勉強会について、7/27(火) 予定の PT 会議の前 30 分で「ハザードマップ活用基本ガイド」を使って野元専務に講師をして頂き勉強会を開催する。CSR 委員、都道府県の CSR 委員長、支部の CSR 委員まで広げ CSR に関わるメンバーを対象としたいと思っているので、事前にガイドの熟読を徹底していただきたい。そして、支部単位等での勉強会では参加した CSR 委員が講師として会員に説明し、お客さまへ提案できるようにしたいと思っている。皆さんが、どう熱を持ってブロックに徹底できるかだと思うのでお願いしたい。

野元専務より

- ・7/27 の勉強会は録画するので活用していただきたいが、皆様が修得し伝えていただくことができれば一番だと思う。
- ・日本代協としては 10 年前からハザードマップの提案を行ってきたがなかなか定着できなかった。しかし最近、国全体がハザードマップに力を入れていることもあり改めて BCP 策定と同様に情報提供している。
- ・法人契約については、ハザードマップにリンクした形で水害リスクが個別に織り込まれているのでハザードマップの説明が出来なければお客さまに保険の説明が出来ないことと同じである。
- ・昨年 8 月から不動産業者が水害リスクの説明をすることが法律で義務化されており、お客さまに先に説明されると専門性が高く感じられ不動産業者で保険に加入しようという事になってしまう。
- ・個人契約については、22 年度の料率算定から地域別の水災料率が導入されることになっており、市区町村単位での料率となる。
- ・これらを踏まえハザードマップ活用の重要性をしっかりと理解しておくことが代理店としては重要である。
- ・保険会社策定の立派なハザードマップも出所は同じ(国交省)であり、お客さま目線だと保険会社提供のハザードマップだと売るためのリスク提供ではないかと感じられてしまうのではないかと。であれば公的な機関が作ったものの方が一般的な客観性は高まると思われるので使い分けができるようにして頂きたい。
- ・ハザードマップは毎年のように見直されており、水害に関してはこれまで 100 年に 1 回という前提で作成されていたが、現在は 1,000 年に 1 回に見直されているので定期的に見直す必要はあるが(熊本・千寿園の例)、ハザードマップを活用してお客さまと対話することが最も重要だと思う(避難場所の確認等含め)。
- ・避難場所が遠い地域、災害時の高層マンションのセキュリティについてどのように考えているのか内閣府に確認してみる。

4. 防災・減災の具体的な取組み(BCP策定)

- ・前回PTで未実施の代協は日程を決めてしまう、単独で難しい場合はブロックでの共同開催を検討することとしたが、目的はセミナー開催ではなく、お客さまへBCPの策定を提案する事を確認した。
- ・資料として添付しているBCPセミナー全国開催状況(日本地図)で未実施の地域の状況を確認したが全ての地域で今年度開催検討中であり年度内には完了見込み。
- ・セミナーも1回より2回目の方が理解が深まるので、他地域で開催される場合積極的に参加すると良い。
セミナーの開催日程が決まったらdirectに情報共有する。

(廣瀬委員長より)

- ・BCP策定会員数把握と事業継続力強化計画認定が非常にわかりにくいとの意見があるがBCPのセミナー開催、BCP策定推進についてはこれまで通りCSR委員会で行い、集計業務については企画環境委員会に任せたいと思う(委員長間で調整)。

(野元専務より補足)

- ・基本はBCP、中小企業庁もBCPを日本の中小企業に広く浸透させたいというのが最大の目的である。ところが、なかなか進んでいない(現在、中小企業のBCP策定率は16.9%くらい)ことに業を煮やして飽をぶら下げて推進する必要があるとの考えから2年前にできたのが事業継続力強化計画認定制度である(税制優遇等の給)。
- ・どちらが上かと言えばBCPの方が上である。事業継続力強化計画の申請をきっかけにBCP策定率を上げていこうとするのが国の戦略である。順番は強化計画の認定を受けてからBCPを策定するのであるが、保険代理店は悠長なことを言っていられない。BCPが機能しなければ代理店の価値が発揮しないのだからBCPを策定しようというのが業界全体の流れである。日本代協も以前からBCPを策定するために支援する取組みを行ってきた。あくまでもBCPの策定・定着が目的であることを認識していただきたい。
- ・BCPは保険代理店にとっては必須項目であり、国が緊急事態宣言下でも仕事を止めてはいけない業種として、保険代理店を明記していることから、医療機関と同じスピードで立ち上がらないといけない業種である。それが、地域の安心・安全を提供することに繋がる意味で本業を通した社会貢献そのものだという位置付でCSRになっている。
- ・ところが、認定申請はプラスアルファなので認定を受けているかいないかは、競争力(品質表示)の差になるという考えから他のチャンネルに比べてプロ代理店の方が認定をしっかりと受けているという品質の証となるので競争力の強化に繋がるから企画環境委員会で推進している。
- ・BCPは保険会社も立派なものを提供しているが、立派すぎて使いづらいので地域の代理店さんをイメージして1枚シートでガイドと連動した作りを提供している。
- ・本来BCPセミナーは、リアル開催でワークショップを取り入れて実際にその場で作業をしながらシートを作ることを想定していたが、コロナ禍でオンラインセミナーとなってしまっているので大阪代協で行っているように実際に会員と一緒に作ってみるところまで踏み込まないと策定まで行き着かないと思う。セミナーを聞いて終わりではなく、しっかりフォローをして頂きたい。中小企業庁からは、お客さまである中小企業にしっかりと伝えて欲しい、それが出来るのは保険代理店であると期待されている(ある意味試されている)。
- ・仮に保険代理店が出来なかった場合は、銀行にこの取組は持っていかれます。金融機関を使って中小企業にBCP策定・事業継続力強化計画認定を取らせようと考えます。そうなってしまうと、保険施策は銀行に握られてしまうことになるので、日本代協としては一所懸命推進している。
- ・ハザードマップについて、災害が起こった際にお客さまから経産省へ多くのクレームが入る(保険が適用されなかった等)が、ハザードマップがありながら活用されていないことに対して大きな疑問を持たれている。
- ・現行の水防法では国として備えをするのは100年に一度の災害を想定している(1,000年に一度の災害に備えると国が破綻してしまう)。したがって、一つは逃げる、もう一つは保険による備えです。中小企業庁の資料も保険加入についてしつこいくらい記載されているので、皆さんが取組んでくることの重要性について

腹落ちしていただきたい。

5. サイバーセキュリティ対策の進め方

前回PTの内容を確認し、取組みを継続する。

6. 継続活動の効果的展開の討議

地震保険普及・無保険車追放

・街頭活動が出来ない状況で、地震保険普及のティッシュを住宅展示場に持っていき、無保険車追放については学校や免許センター等に持っていくなど工夫をしている。

子ども 110 番

・改めて推進マニュアルを確認し今後の取組み強化を図る。

次回委員会では活動チェックシートをしっかりと作成するようブロック内で共有することを確認した。

7. 新たな防災・減災取組みについて

次回PTまでにdirectにアップする。

.その他・閉会

1. 情報共有

事務局より下記情報共有があった。

・BS日テレで8月～「みんなの防災スイッチON」を放映する。内容はCSR委員会の取組みと連動したものである。是非視聴してください(6回目は熊本・人吉地域での被災者の紹介があり調整中)。

2. 本日の到達点の確認、次回以降日程確認

・事務局より、本日の決定事項を再度確認した。

以上

次回開催日 2021年7月27日(火) 15:00～17:00(PT)

2021年9月28日(火) 13:30～17:00(第3回委員会)